

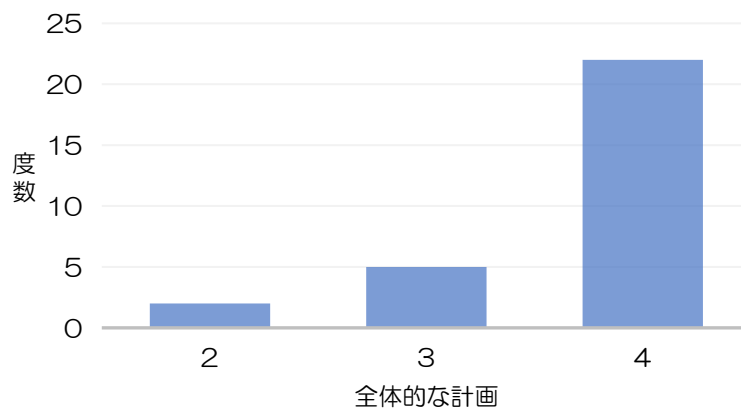
# 中央しおり保育園職員自己評価アンケート結果

【回答について】

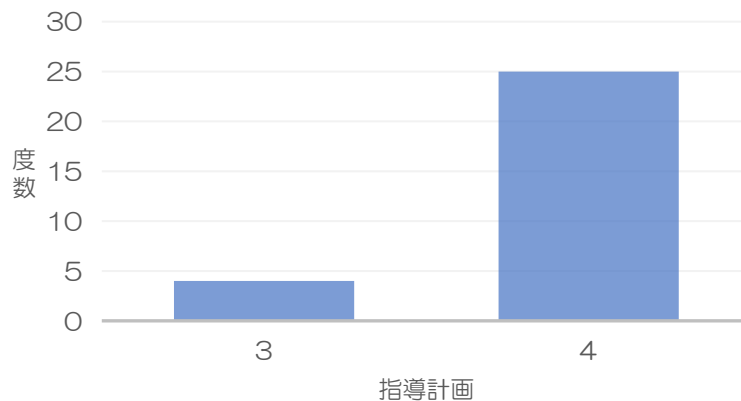
- 1・取組の努力が望まれる
- 2・取組がなされている（3項目以上が該当する）
- 3・よい取り組みがなされている
- 4・大変よい取り組みがなされている（すべての項目が該当する）

## I 子どもの発達援助

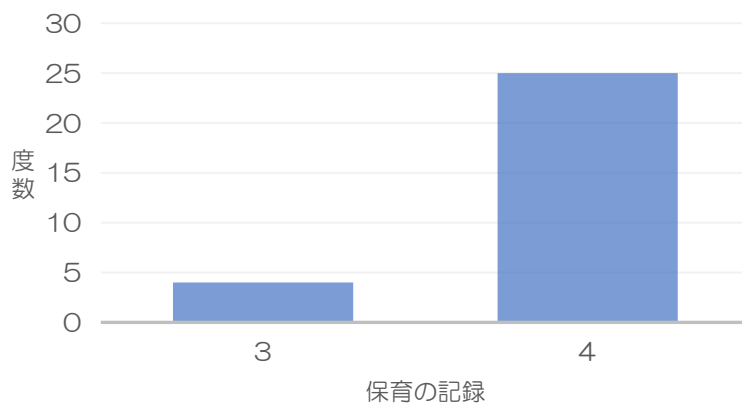
1. 全体的な計画が、保育所保育の基本原則に基づき、さらに子どもの発達過程を踏まえて、保育の内容が組織的・計画的に構成され作成されている。



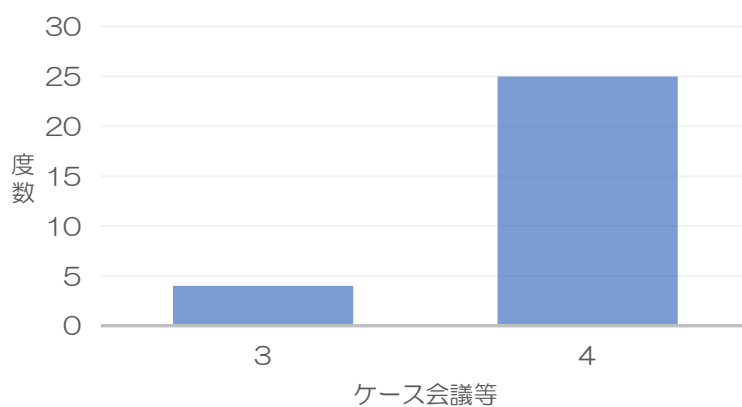
2. 子どもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と、より具体的な日々の生活に即した短期的な指導計画が作成されており、さらに定期的な評価が行われ、指導計画を見直している。



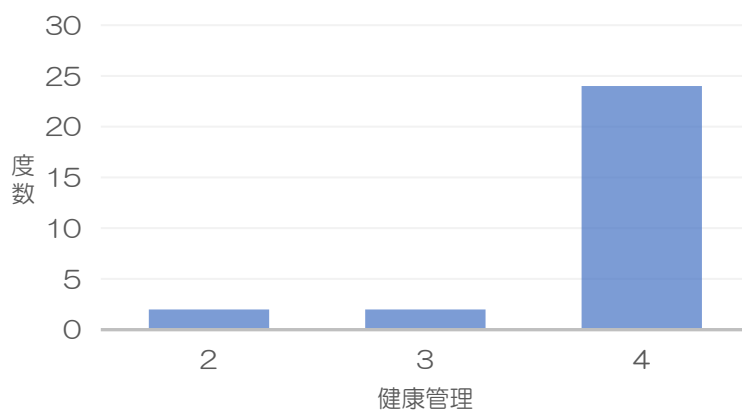
3. 一人一人の子どもについて、保育の記録が継続的に記載・管理・引継ぎされ、それぞれの子どもに関係する職員に周知されている。



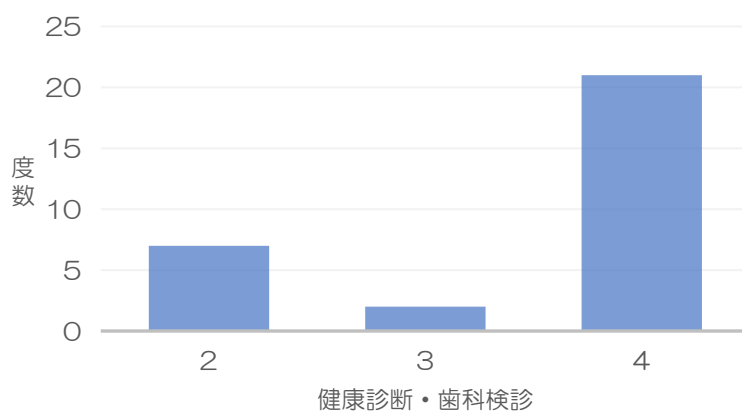
4. 一人一人の子どもの発達状況、保育目標、保育の実際について話し合うためのケース会議等を定期的かつ必要に応じて開催し、その結果を保育実践に生かしている。



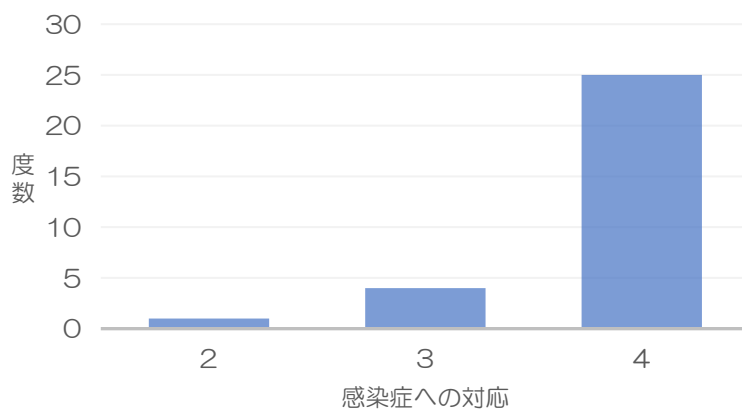
5. 子どもの健康管理について、日頃から健康対策に取り組み、また、発病時などのマニュアルが整備され、子ども一人一人の健康状態に応じて実施している。



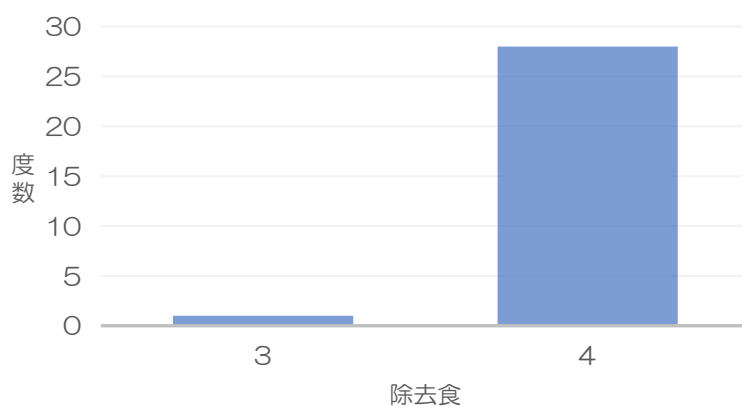
6. 健康診断・歯科健康診査の結果や子どもの発育及び発達状態について、保護者や全職員に伝達し、それを保育に反映させている。



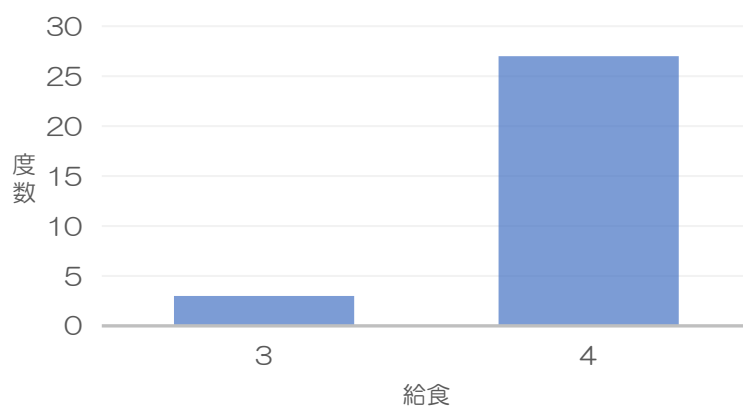
7. 感染症への対応については、マニュアル（基準）などがあり、発生の状況を必要に応じて保護者に連絡している。



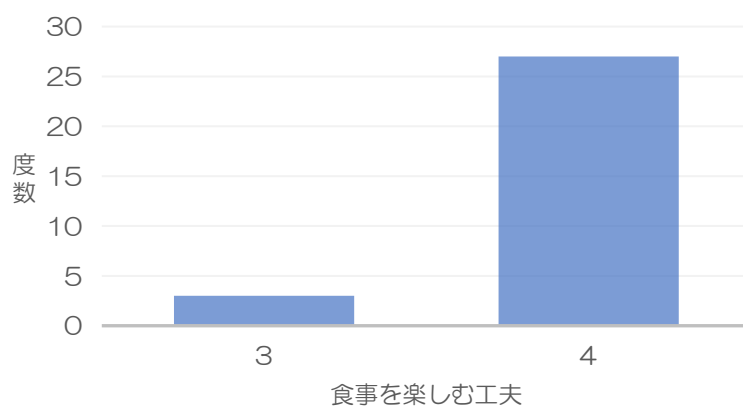
8. アレルギー疾患のある子どもの除去食について、かかりつけ医から指示があった場合、状況に応じて適切な対応を取っている。



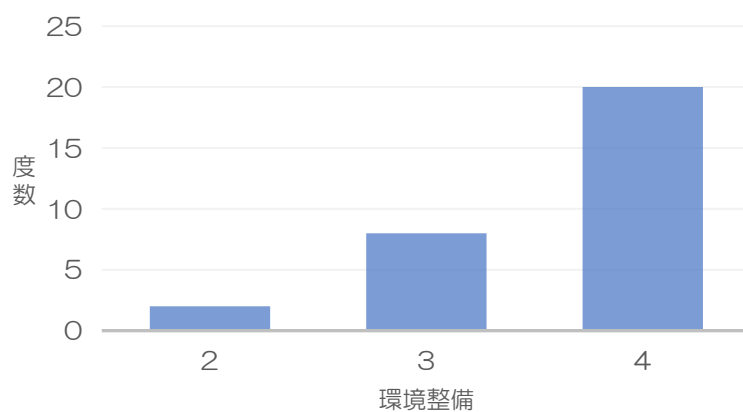
9. 給食・おやつ提供に当たっては、日々の献立を保護者に示すとともに、必要に応じて子どもの喫食状況を保護者に連絡している。



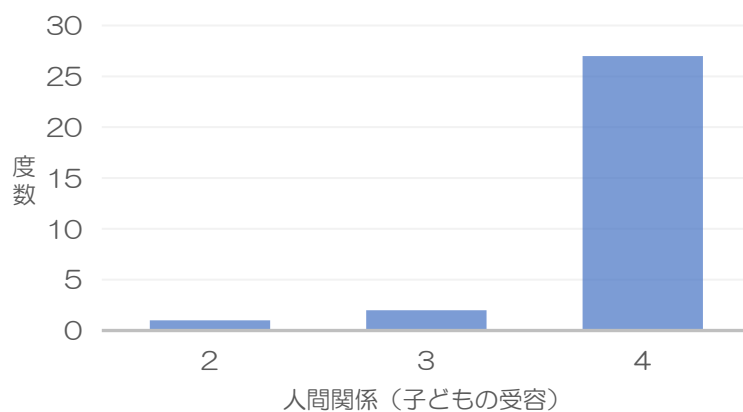
10. 食事を楽しむことができる工夫をしている。



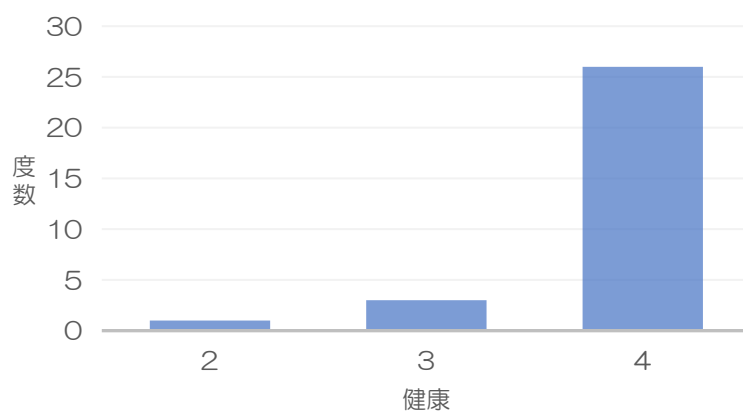
11.子どもが快適に過ごせ、保育の場にふさわしい環境になるよう取り組んでいる。



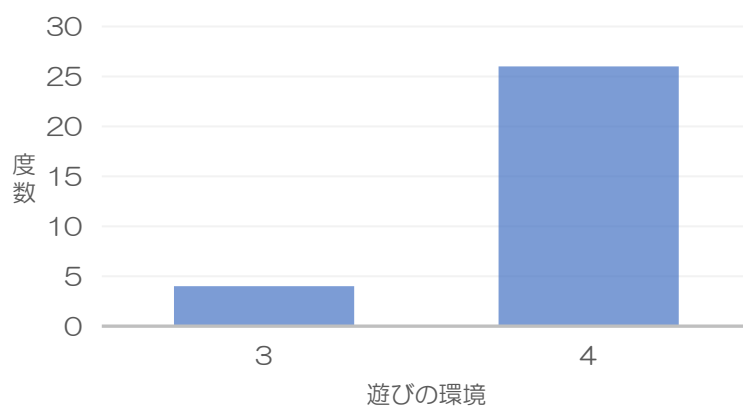
12.子ども一人一人への理解を深め、受容しようと努めている。



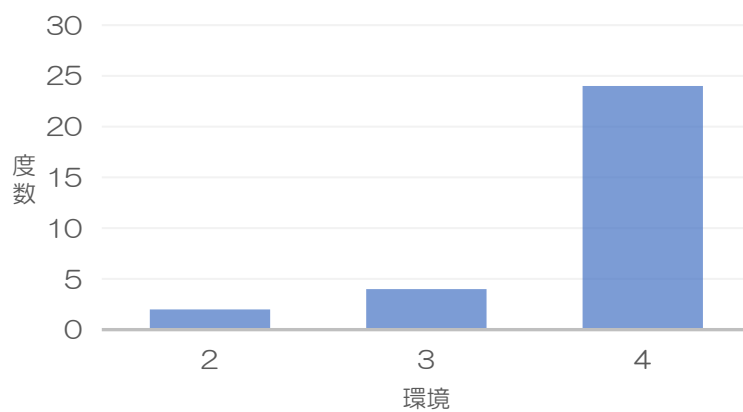
13.基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人一人の子どもの状況に応じて対応している。



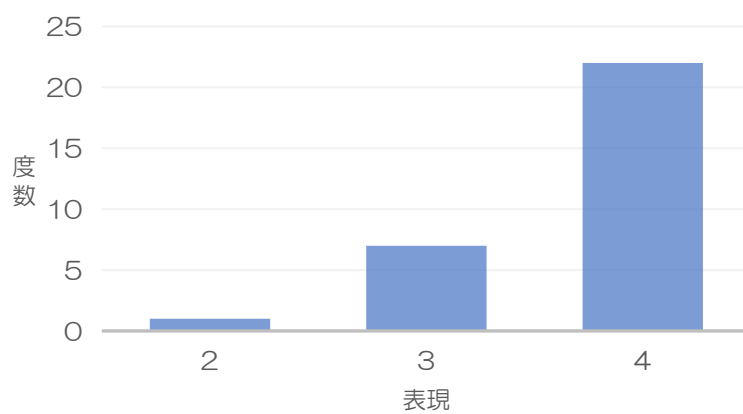
14.子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。



15.身近な自然や社会と関われるような取組がされている。

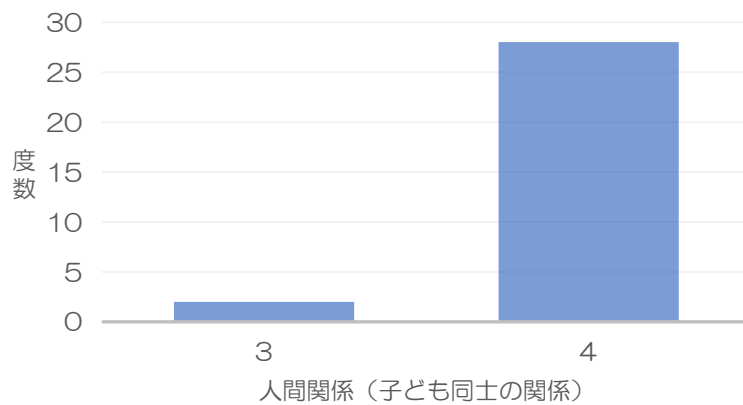


16. 表現する喜びが味わえるように配慮されている。

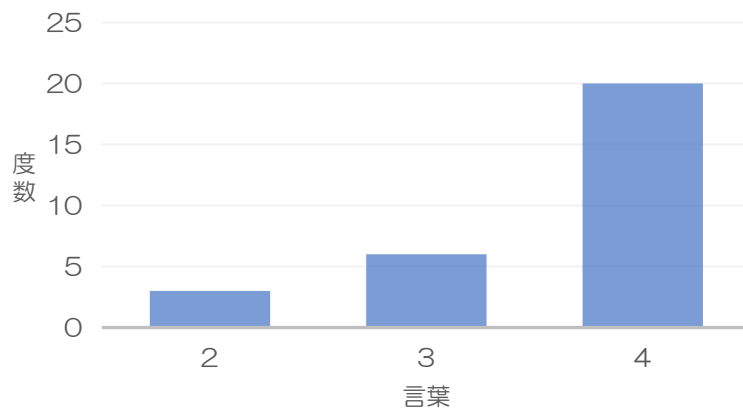




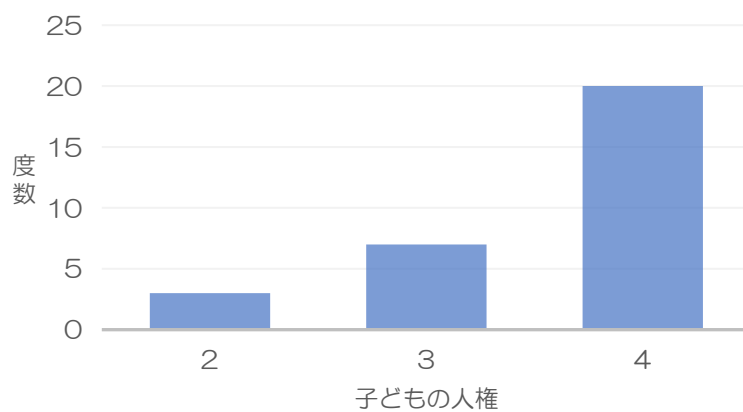
17.遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している。



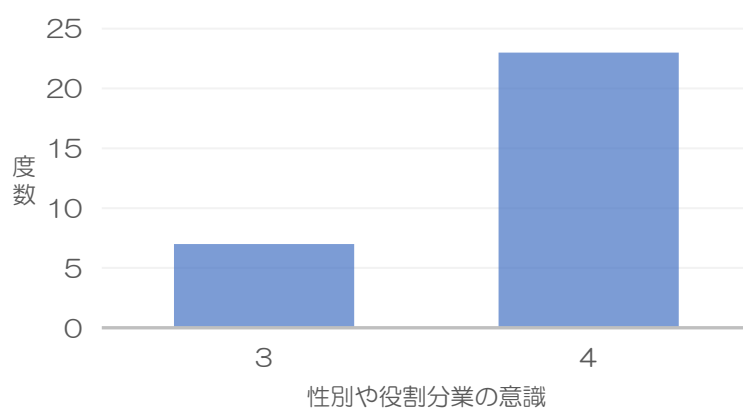
18. 子どもの成長・発達に応じて、言葉を獲得していけるように配慮している。



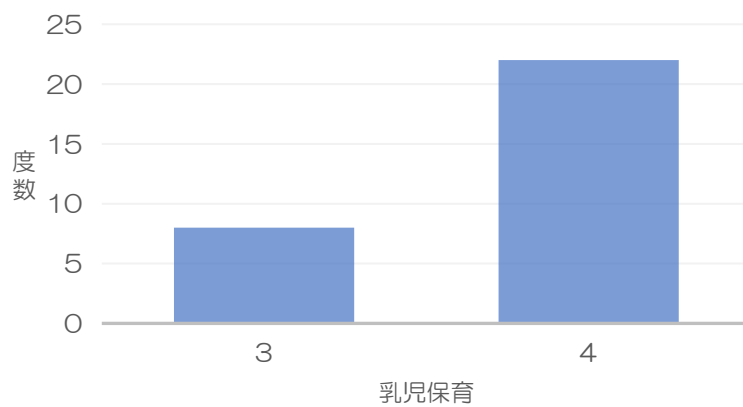
19. 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。



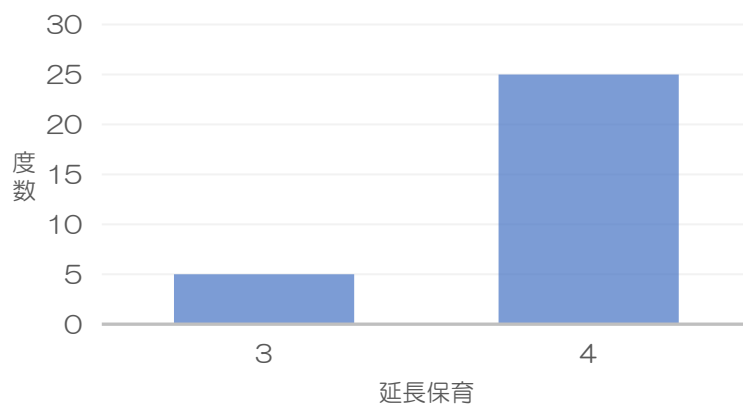
20. 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。



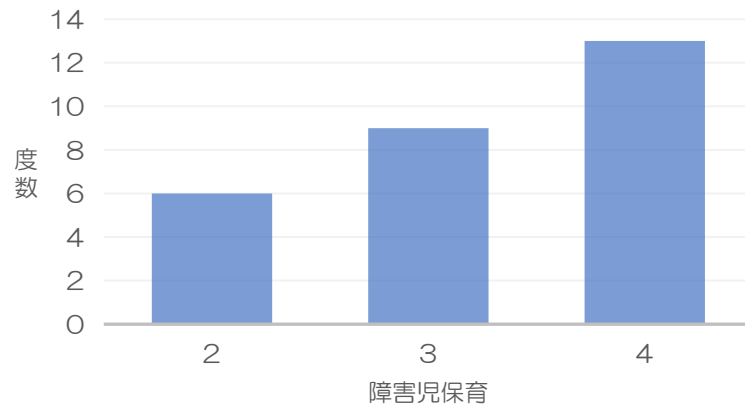
21. 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。



22. 延長保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。

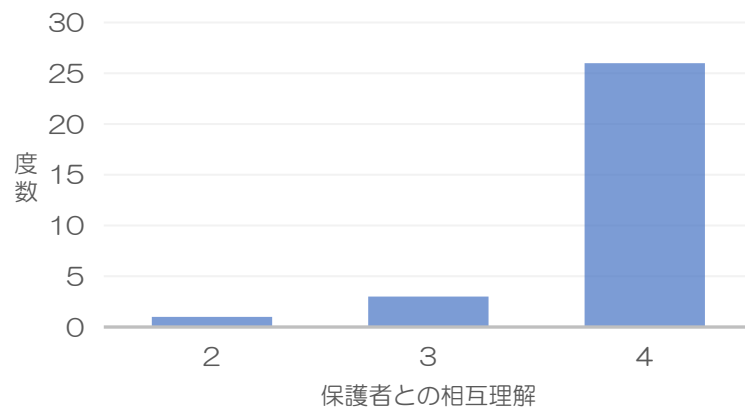


23. 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。

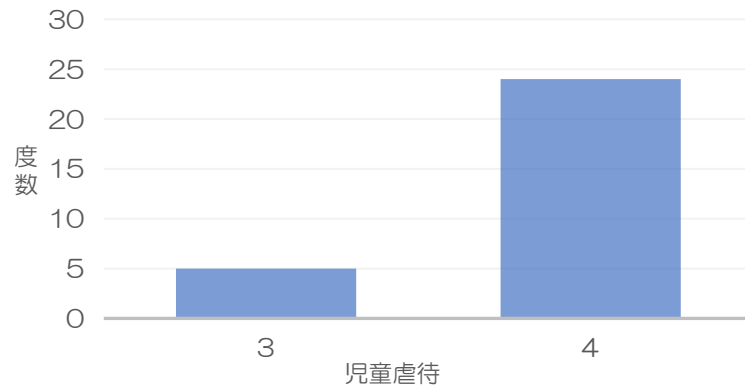


## Ⅱ 子育て支援

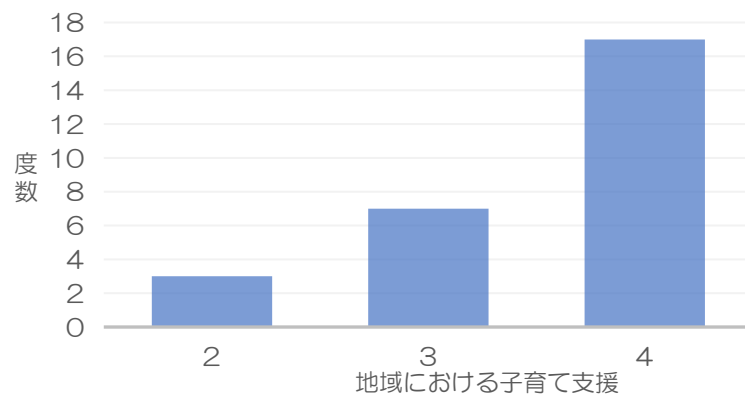
24. 保護者と日常的な情報交換、個別面談や育児相談などを行い、保護者との相互理解を深めている。



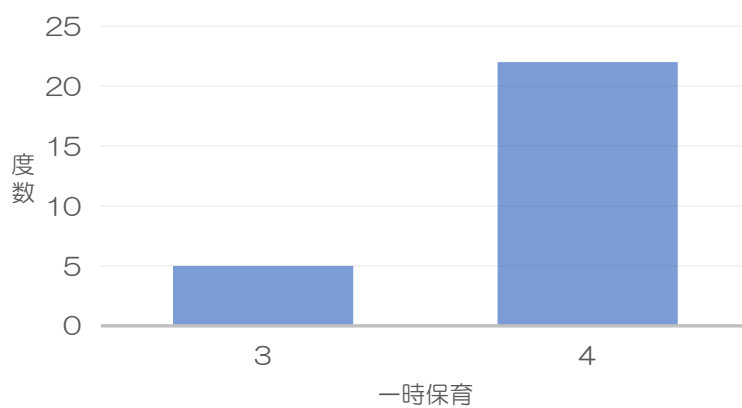
25. 虐待が疑われる子どもの早期発見に努め、保護者への対応について、子ども総合センターなどの関係機関に通告・相談を行う体制が整っている。



26. 育児相談など、地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取組が行われ、保育所を開放している。

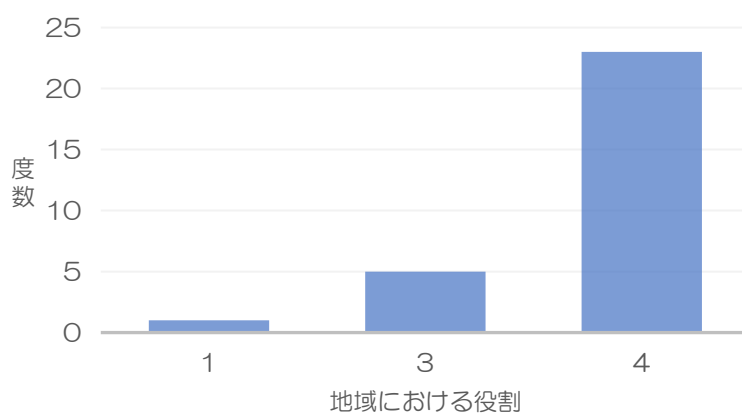


27. 一時保育は、一人一人の子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。

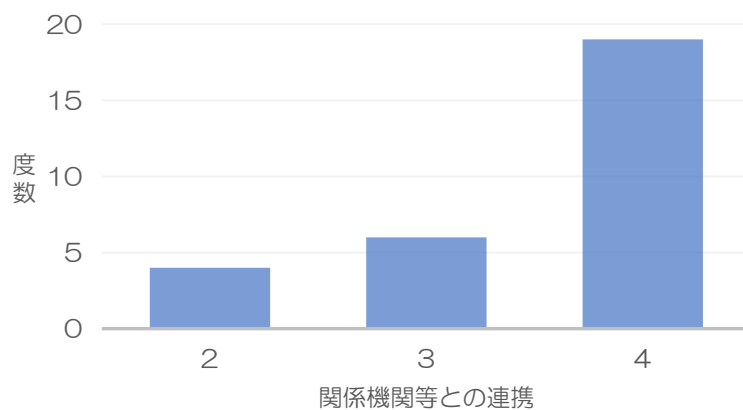


### Ⅲ地域の住民や関係機関等の連携

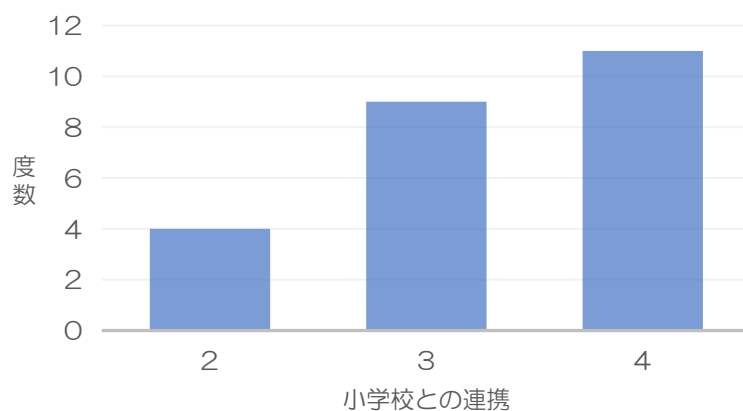
28. 地域における保育所の役割を果たすため、地域の関係機関などの必要な情報を収集し、それを保護者等に提供するとともに、職員が共有している。



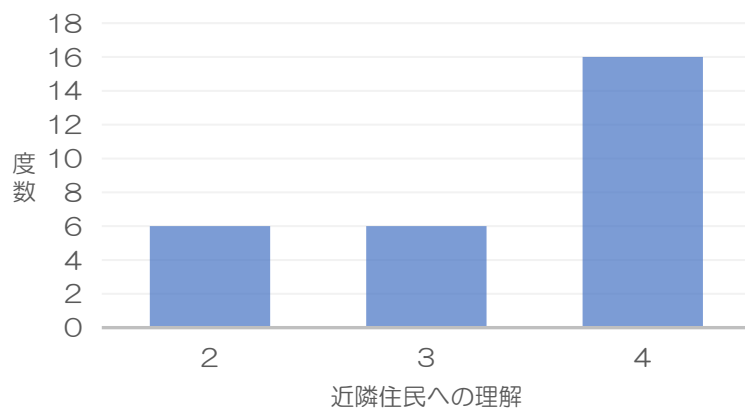
29. 保育所での育児相談や行事など、保育所運営に当たって、関係機関や団体などと連携した取組を行っている。



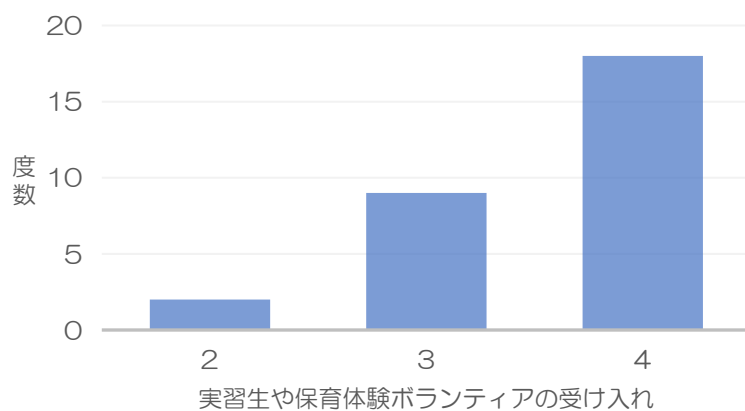
30. 小学校、他の保育所（幼稚園）との間で、小学生と園児、園児同士が行事などで交流する機会を設けており、職員間の話し合い、研修など、連携の機会がある。



31. 近隣の住民に対し、保育について理解を得るための取組を行っている。



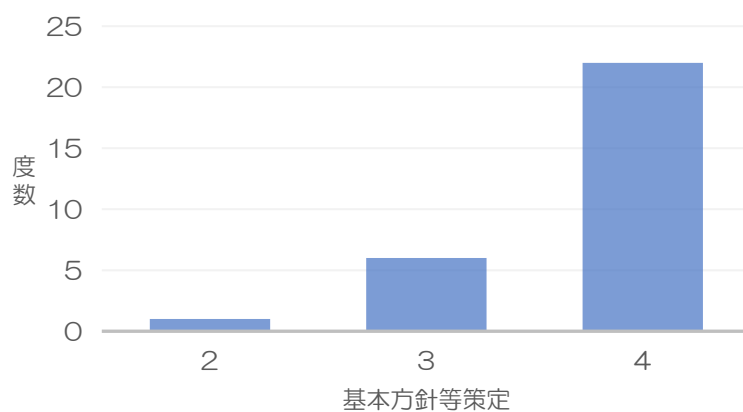
32. 実習生や保育体験、ボランティアの受け入れについて、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、担当者が決められている。



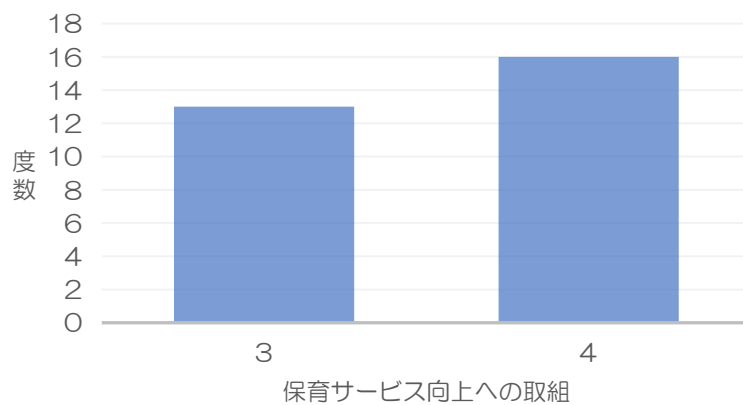


#### IV 運営管理

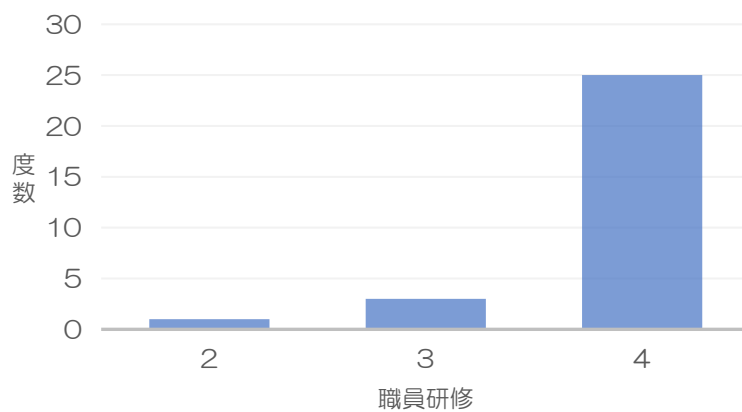
33. 保育所の保育理念と基本方針が明文化され、職員、保護者、関係者に周知するための取組を行うとともに、中・長期計画が策定されている。



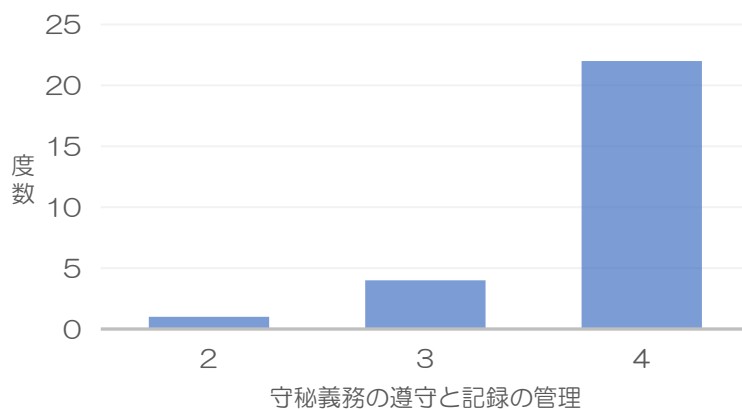
34. 保育の質の向上や改善のための取組を、職員参加により行っている。



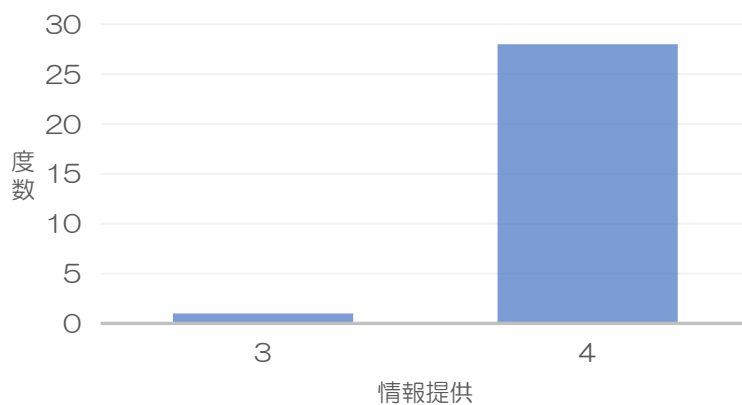
35. 職員の研修ニーズを把握し、適切な研修機会を確保するとともに、研修の成果を全職員が共有できるよう努めている。



- 36 情報の管理に関する規程が定められており、その内容が職員に周知されている



37 保育所運営に理解や協力を得るための情報提供に積極的に取り組むとともに提供に当たっては分かりやすく伝える工夫を行っている。



38 安全・衛生管理などに関するマニュアルなどが整備され、その内容を踏まえた取組がなされている。

